



保健医療課 保健師 山下恵里奈

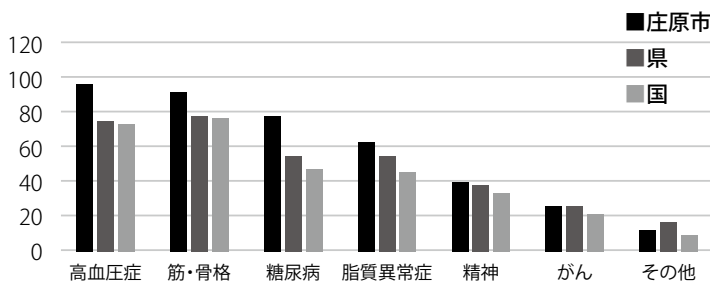
保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255

健診を受診しましょう 特定健診とがん検診

4月は、市が実施する健診の申し込み時期です。
そこで今回は、健診について、特定健診とがん検診に分けてお伝えします。

下図は庄原市の国保において、病院にかかった件数を病気ごとにとまとめたものです。高血圧症、糖尿病、脂質異常症といった、主に日ごろの生活習慣に起因する病気（生活習慣病）が多いことが分かります。また、庄原市は県や国と比較しても多い傾向にあります。生活習慣病を放置すると、心筋梗塞や脳卒中の発症につながるため、早期の対策が重要です。

(図) 被保険者千人当たりレセプト件数 (外来・H30年度)



資料：広島県国民健康保険団体連合会

(表) がん検診の種別と対象者

種別	対象者
大腸がん検診	40歳以上 1年に1回
肺がん検診	40歳以上 1年に1回
胃がん検診	50歳以上 2年に1回
乳がん検診	40歳以上女性 2年に1回
子宮がん検診	20歳以上女性 2年に1回

資料：がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針

特定健診

40歳以上の人は、生活習慣病の早期発見のため、年に1回特定健診を受診するように定められています。「メタボリックシンドローム」に着目した健診で、身体計測、血液検査、尿検査などから、生活習慣病へのリスクを推測します。健診の結果「高リスク」と判定された人は、特定保健指導を受け、専門家から生活習慣改善のためのアドバイスをもらいます。
すでに通院中の人も、他の生活習慣病に対するリスク確認のため、特定健診の対象です。

がん検診

日本人の2人に1人がかかり、3人に1人が亡くなるといわれているがんですが、現在では早期発見・早期治療でその多くが治ります。また、早期であれば一般的に治療も軽く、身体的にも経済的にも負担が少なくなります。症状を感じた時にはがんが進行している恐れがあるため、がんの早期発見には定期的な検診の受診が有効です。市町村が行うがん検診には国から指針が示されており、その中で推奨されている対象者は左の表のとおりです。

いずれの健診も受けた後が重要です！ 異常が見つかった方は、特定保健指導を受けて生活習慣を見直す、自己判断せず精密検査を受けるなど、健診の結果を十分に活用してください。



特定健診・がん検診を受けるには

市は集団健診を各地域で実施しています。集団検診では自己負担額の助成があり、安く受診できます。この機会をぜひご利用ください。

がん検診は、庄原市民で対象年齢であれば、どなたでも受診できます。特定健診は、健康保険組合、協会けんぽ、共済組合など医療保険によって異なるため、勤務先や保険者にお問い合わせください。

市の健診の申し込み方法

「令和2年度庄原市生活習慣病健康調査のご案内」を4月上旬に各家庭に郵送します。同封されている申込書を保健医療課または各支所担当窓口へ提出してください（郵送可）。

なお、市の国保の特定健診対象者には、過去の受診状況などを反映した個別の案内も届きますので、ぜひお申し込みください。